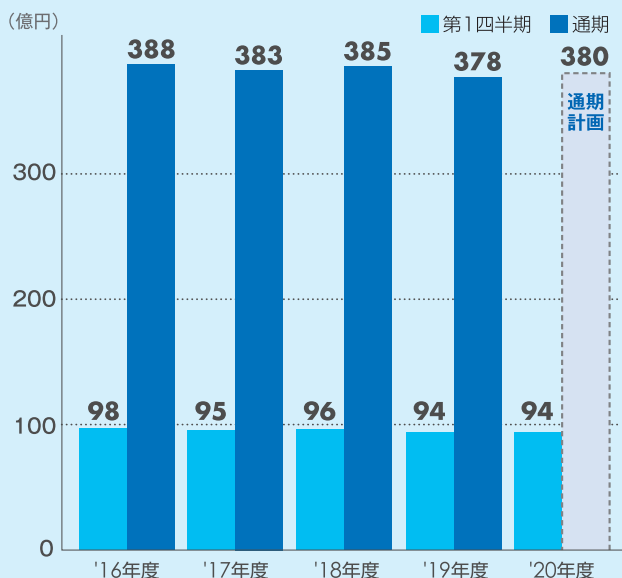


池田泉州ホールディングス 決算レポート

業績 High Light 第4次中期経営計画の進捗

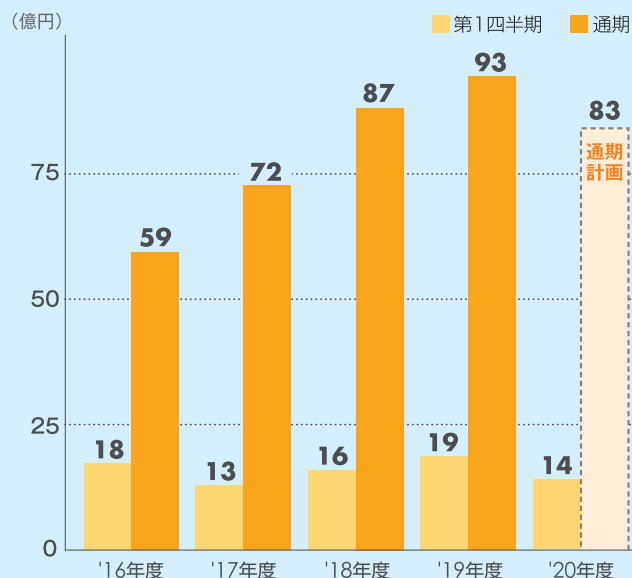
2020年度 第1四半期の純利益は15億円
(前年比横ばい、通期計画40億円に対し順調に進捗)

預貸金収支 預金と貸出金の利ざやから得られる
預貸金収支は、**94**億円(ほぼ横ばい)



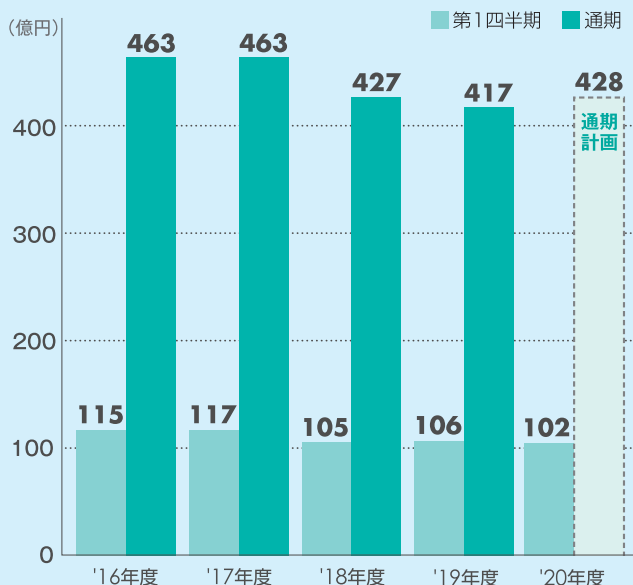
- ・マイナス金利政策の長期化・低金利環境が続くものの、新型コロナウイルス感染症拡大による地元取引先の資金繰りの応援に注力
- ・事業性貸出のボリューム増加に伴い、預貸金収支はほぼ横ばい

非金利収益 個人・法人の手数料を中心とした
非金利収益は、**14**億円(前年同期比▲5億円)



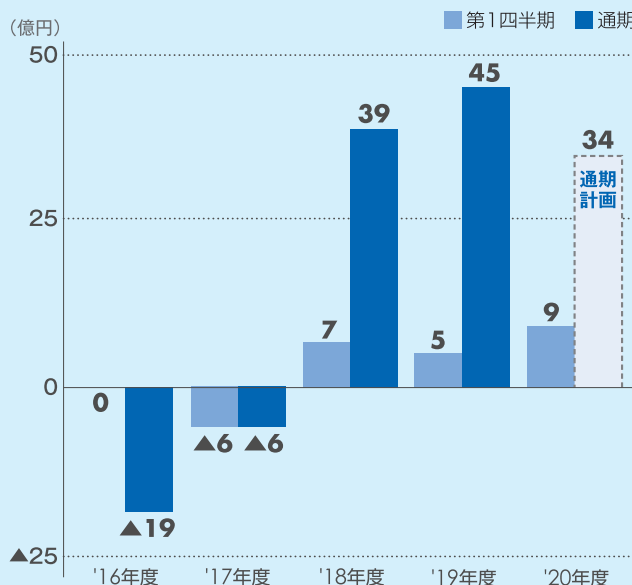
- ・新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、非金利収益の収益計画をやや弱含みの計画に修正
- ・第1四半期は営業自粛の影響を受け、前年同期比減少
- ・但し、緊急事態宣言解除以降、同部門収益は回復基調にあり、情勢見極めながら年度計画達成を目指していく

経費削減の進捗 人件費・物件費を引き続き抑制、
経費は、**102**億円(前年同期比4億円改善)



- ・2020年度も引き続き人件費・物件費を抑制する計画
- 第1四半期の経費は102億円で着地
(前年同期比4億円改善)

本業利益*の状況 お客さまとの取引から得られる
本業利益は、**9**億円(前年同期比+4億円)



- ・営業自粛に伴い非金利収益が前年同期比減少したものの、経費が改善し、第1四半期の本業利益は前年同期比+4億円の9億円で着地

* 貸出残高×預貸金利回り差+役員取引等利益-営業経費